

刊行にあたって

本市の基本構想・基本計画である「元気発進！北九州」プランでは、まちづくりの目標に「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」を掲げ、各種施策を進めています。

そうした中、「世界の環境首都」及び活気ある緑の産業都市を目指す「緑の成長戦略」の実現に向け、北九州市環境基本計画に掲げる「市民環境力の発展」、「低炭素社会づくりの推進」、「循環型社会づくりの推進」、「生物多様性保全の推進と快適な生活環境の確保」の四つを柱として取り組んでいます。

具体的には、ごみの減量化・再資源化の推進や、微小粒子状物質（PM2.5）などの大気汚染や水質汚濁の防止、不法投棄等に関する生活環境の保全など環境施策の基本となる取組を着実に進めるとともに、平成24年10月に若松区響灘地区の廃棄物処分場跡地に日本最大級の響灘ビオトープがオープンし、生物多様性の重要性や生態系の仕組みを学べる自然環境学習拠点として多くの市民に利用されています。

さらに、北九州スマートコミュニティ創造事業における電力の需給状況に応じて電気料金を一時的に変動させる本格的な実証実験や、アジア低炭素化センターによるグリーンシティ輸出に向けた環境国際ビジネスの展開、ESD推進を柱とした市民環境力の発揮など幅広い取組も同時に推進しております。

これまでの取組により、市政評価において、「ごみの適正処理とリサイクル」の評価が平成5年度から連続して1位になるなど、市民の皆さんから高い評価をいただくとともに、OECD（経済協力開発機構）から「グリーンシティ・プログラム」のグリーン成長都市にアジア地域で初めて選定されるなど、国内外からも高く評価されています。

今年10月は、北九州エコライフステージやエコテクノといった環境イベント、OECDグリーンシティ・プログラム北九州レポート発表記念会議やアジア太平洋RCE地域会議等の国際会議など、市制50周年を記念した多数のイベントが開催されます。そこで、「北九州エコマンス」と題して、これらのイベントを国内外にトータルに発信するとともに、新たに「市民いっせい雑紙回収グランプリ」を実施するなど、「市民環境力」のさらなる強化に取り組めます。

今後も引き続き、市民・NPO、事業者の皆様が育ててきた市民環境力を発揮しながら、「世界の環境首都」を目指した環境施策に取り組み、環境の絆で結ばれた豊かな暮らしが実感できるまちを目指して様々な取組を進めたいと思います。

なお、小誌は、平成24年度の本市の環境の現状と環境保全の施策をまとめたもので、皆様に広く活用され、本市の環境行政に一層のご理解、ご協力をいただければ幸いです。